

1 はじめの一歩部門

No	グループ名	企画提案事業名	企画内容	代表者名	助成申請額 (単位:円)
1	トーキョーコーヒー 練馬	すべての子どもと大人の遊び場	子育て世代の親が地域の方との繋がりが感じていることや、不登校というマイナスな印象によって孤立しがちという地域課題に対し、ワークショップや講演会、茶話会などを参加者と一緒に企画・実施する。地域の顔なじみになるところから始まり、子育てや教育について対話ができる居場所を目指す。	吉田 綾	50,000
2	ボランティア集団・みんないっしょ!	子ども食堂	社会から取り残された子どもや高齢者が一緒に集まり、ご飯を食へ、健康に暮らせるよう栄養に配慮した食事を提供する。併せて、様々な人やグループが集まって話し合いと助け合いにより、課題解決に努める。他地域に比べ、子ども食堂がない関町北の個人宅にて月1回実施する。	白戸 東子	50,000

2 やさしいまちづくり活動助成部門

No	グループ名	企画提案事業名	企画内容	代表者名	助成申請額 (単位:円)
1	氷川台だるまちゃんち	休日の子どもの居場所	学校や児童館が休みの休日に児童がのびのびと遊べる場所が少ないため、月2回遊びの場と要望者には食料の提供を行う。また、家庭のなやグループが集まって話し合いと助け合いにより、課題解決に努める。他地域に比べ、子ども食堂がない関町北の個人宅にて月1回実施する。	馬淵 さおり	84,000
2	On your marks (オンユア マークス) -いちについて-	ねりまのこどもにほんごクラス	日本語指導を必要としている児童・生徒が年々増加しているほか、学校で過ごすことが難しい外国ルーツの子どもの居場所が少ないという現状がある。毎週1回、日本語学習サポートと合わせて日本の遊びを取り入れた活動を行うことで居場所づくりも担う。	梶田 柚香	100,000
3	コミュニティバス	地域と共に交流カフェ、イベントの開催	コロナ禍によって減少した人との関わり合いに対し、異世代・異文化交流カフェやイベントを開催する。これにより、それぞれの文化を尊重したコミュニティを地域で育むことや、孤独を感じたり困難を抱える人の助け合いの輪を広げられるような居場所となる。	金 美脚	100,000
4	とよ熱プロジェクト	寝ころびシアター&プールでカヌー体験	市街地は緑が少なく、自然と触れ合う機会のニーズがあることや新たな住民を取り込んだ地域コミュニティの活性化のために、豊玉第二小学校を会場として、プラネタリウム観賞やカヌー体験、フース設置等を行う。自然科学体験イベントを通じて、児童の自己肯定感を高めるとともに、参加者同士の交流が生まれることで地域全体での子どもの見守りにも繋がる。	西谷 弾	100,000
5	これからっとラボin練馬	これからつながる練馬deらいふ	超高齢化社会では、セカンドライフの充実が必要不可欠だが、現役時代は仕事や家事、育児や介護、学校や近隣での役割などに追われ、自分自身のこれからの振り返る時間や余力を取ることが難しい。そこで、多忙なエルダー世代(40~60歳代)でも気軽に地域や仲間、健康とつながる「場」としてイベントや勉強会などの開催を行う。また、仲間づくりや健康づくり、地域活動についての情報や体験をSNSやホームページを通じて発信していく。	田口 陽子	100,000
6	地域の居場所ぬくぬく	生きづらさを抱える方達を対象とした居場所づくり	障害のある方、生きづらさを感じている方、ひきこもりの方、居場所を必要としている方が安心して居心地よく過ごせて、繋がりを持てるような居場所を提供する。思いを話し合い、多世代の多彩な人々と交流し、学び合い、地域の情報交換などを行う。また、街かどケアカフェつじの休止に伴い、通い場が無くなった高齢者の居場所も提供していく。	佐々木 協子	100,000
7	collet(コレット)	練馬産後ケアバランスボール	バランスボールエクササイズによる産後ケアにより、体力が付き、産後特有のこころと身体の不調を整え、産後の身体を立て直す。また、社会的疎外感を感じやすい産後ママが集まる場を設けることで、コミュニケーションを図り、産後ママ同士が仲間となり、笑顔になることで産後クライシスや産後うつを防ぐ。また、同じ曜日・時間での定期講座を開催することで継続的な運動の機会や地域の人たちとの交流の場にもなる。	石本 小百合	100,000
8	任意団体 はじまりの場所	大学生による居場所づくりおよび学習支援	学校で課題を抱える子どもたちが楽しく素で居られる居場所の創出および経済的な理由で望む学習が受けられない子どもたちの学習支援を実施する。またこのような支援により、子どもに関する不安を抱えた保護者にとっても心理的負担の軽減となる。大泉の拠点2が所て実施。	市橋 宗一郎	100,000
9	ねりま笑店街実行委員会・ねりまキッズボランティア	多様なこども達が、共に輝く居場所を作るVol.3	障がいのある子もいない子も、学校が苦手な子もそうでない子も、共に交流できる居場所をつくる。同じ目的に向かってこども達主体で活動し、個人が力を発揮し、互いに成長する場を提供する。こども達が企画する遊び、新聞づくり、ハラスポーツと手作りゲームを合わせたイベントなどを通して乳幼児~高齢者、障害児・者、外国籍の方など幅広い人たちと交流を図る。	江口 暁	100,000
10	ねりまっハッハッハッハー	笑いヨガとリラクゼーション、頭の運動・笑う脳活性化ゲーム	コロナ禍で人や自然との関わりが減り、過度なストレスや孤独を感じる人、健康への被害が多い現状となっている。笑いや深呼吸を組み合わせた「笑いヨガ」と機能訓練や認知症予防となる「脳活性化ゲーム」を継続して開催することで、多様な参加者の心身の健康増進や交流の場へと繋げる。	蓮池 龍三	100,000